

選手のみなさん

試合に出るとき、ぜひ守ってください

新日本スポーツ連盟 全国テニス協会

< はじめに >

第25回全国テニス選手権大会は、千葉市蘇我スポーツ公園フクダ電子ヒルスコートで行われます。

本大会は日本テニス協会発行「JTAテニスルールブック2025」の規定に準じて行います。また、長年積み重ねてきた当連盟の「全国スポーツ祭典」や「選手権大会」の慣習も生かして行います。

< 競技上の注意事項 >

1. 天候その他により試合の有無が不明な場合でも、定刻までに会場に参集してください。
蘇我スポーツ公園フクダ電子ヒルスコートは、水はけが良いですが、試合の有無を自分で判断しないこと。
2. 受付を1日目、2日目とも指定時間までに済ませてください。
3. 試合方法は、本戦は1セットマッチ(6-6 7Pタイブレーク)で行い、準決勝から8ゲームスプロセットマッチ(8-8 7Pタイブレーク)で行います。
コンソレーションは、1セットマッチ(6-6 7Pタイブレーク・ノーアドバンテージ)で行います。
但し、天候等によっては変更する場合もあります。
4. ウオームアップについて
 - ① 本戦は5分以内とし、コンソレーションはサービス4本のみとします。
 - ② ウオームアップ時、ウォームアップスーツ着用可ですがロゴ違反のものは着用出来ません
ので注意して下さい。余りにも寒い場合は試合中も着用を認める場合もあります。
5. 今回会場には、トレーナーが常駐しています。
試合中に発生した怪我または病気に対してトレーナーは手当てや判断をおこないます。
6. ロービングアンパイアを3~4面に1人配置します。
ロービングアンパイアの権限は、試合前はウォームアップ時間、着用するウェア(ロゴ)の指導、試合中に生じた問題の対応などをお願いしています。
試合中は、①不正確な判定のオーバーラール
②フットフォールトのコール
③時間の管理などで選手の皆さんを指導します。

< 服装について >

- *「JTAルールブック2025を原則とします。試合に出る前に確認し、相応な服装で参加すること。ウェアの適否は、レフェリーが最終判断しますが、必要に応じロービングアンパイアより、服装の交換が指示されます。
- * テニスウェアでも試合と練習のウェアは違います。ロゴが大きいウェアは練習用で、試合用ではないので注意すること。

- * テニスウェアとは
 - ・ 男子…シャツとショーツ
 - ・ 女子…ワンピース シャツとスコートまたはショーツ

※ セーター、カーディガン、ベストは認める。

- * 着用できない服装
 - ・ テニスに不適切なTシャツ、ランニングシャツ、ジーンズなど
 - ・ ロゴの数や大きさが不適切なウェアなども
 - ・ スパッツ(医療製品)には、13cm² 以下の製造業者ロゴ1つと規制されています。
気をつけること。

※ ロゴについて…JTAルールブック2025が原則となります。ルールブック記載のロゴ規定一覧表や、それを具体化したシャツやパンツの図、実際のロゴの大きさの図などは、ホームページに掲載してありますので確認して下さい。また、分らない様でしたら各県テニス協議会や役員にご相談下さい。

- * 例外規定
 - ・ 長ズボンの着用…ルールブックでは、レフェリーの許可がないと、ウォームアップ以外で長ズボンは着用できないとしていますが、当大会では、開催時期が12月であること、参加選手の年齢規制がないことなどを考慮し、着用を認めています。
 - ・ レフェリーの許可…天候等により、レフェリーが試合中のウォームアップ用服装を許可した場合。(全体に連絡されます)但し、ロゴ違反のウェアは着用できません。

< その他の注意事項 >

1. 大会役員の指示に従い、速やかな試合進行にご協力ください。
2. プレーヤーは試合中いかなるコーチングも受けられません。
3. コート内では携帯電話の電源を切ってください。(コーチングとみなされます)
4. 本大会はすべての選手を公平に扱います。
5. スマートウォッチも、試合中は着用出来ません。
電源を切ってバッグの中にしまって下さい。

・新日本スポーツ連盟は「フェアプレイの精神で試合を！！」を呼びかけています。

- フェアプレイとは
- ① ルールを守る
 - ② 対戦相手をリスペクト(尊敬し信頼すること)
 - ③ スポーツマンシップに乗っ取って試合を行う

・セルフジャッジの5原則を守りましょう！！

試合中には、時としてトラブルが発生します。よりフェアな試合がスムーズに行えるよう次の事を守ってください。

- ① 判定が難しい場合は「グッド」(相手に有利に)
- ② 「アウト」「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき
- ③ サーバはサーブを打つ前、レシーバに聞こえる声でスコアをアナウンス
- ④ ジャッジコールは相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに
- ⑤ コート外の人はセルフジャッジへの口出しはしない